





ロンサーフ+アバスチンの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2~14日目	15日目	16~28日目	
アバスチン (ペバシズマブ) mg	 初回は90分 2回目は60分 3回目以降は30分	お休み	 初回は90分 2回目は60分 3回目以降は30分	お休み	
ロンサーフ (トリフルリジン・チピ ラシル塩酸塩) 1日 mg	5日間  朝食後 mg 夕食後 mg ※錠剤の組み合わせ は別紙参照	2日間 お休み	5日間  朝食後 mg 夕食後 mg ※錠剤の組み合わせ は別紙参照	2日間 お休み	14日間 お休み

*合計4週間を1回の治療とする

◎飲み忘れた場合には、忘れた分を服用せず、次の分から服用してください。

絶対に2回分を一度に飲まないで下さい。

この薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、抗がん剤の影響で白血球が少なくなると、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

肝機能障害

肝臓の働きが低下することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、肝臓の働きを確認します。

⇒お酒やサプリメント、健康食品でも肝臓の働きが低下することもあります。服用中の方は、主治医に申し出て下さい。



〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりとりましょう。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることがあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。また、患部から出血することもあります。10~15分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

高血圧

血圧が上がることがあります。血圧が高いと頭痛をとまなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

創傷治癒遅延（傷が治りにくい）

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「激しい腹痛」、「激しい下痢」（腸炎）
- ★「胸の痛み」、「息苦しくなる」、「片方の足の急激な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）
- ★「急な激しい腹痛」、「お腹を押した際に痛む」、「発熱」（消化管穿孔）
- ★「倦怠感（だるさ）」、「食欲不振」、「発熱」、「黄疸（目の白い部分や顔や手が黄色くなる）」、「発疹」、「吐き気・嘔吐」、「かゆみ」（肝機能障害）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。